

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
当センターの研修につきまして下記のとおりご案内申し上げますので、受講者の
派遣方につきまして格別のご高配を賜りたくお願い申し上げます。

平成 25 年度研修

鋼橋設計・施工

— 基本技術から最新の技術まで —

共 催 一般社団法人 日本橋梁建設協会
一般財団法人 全国建設研修センター
後 援 国 土 交 通 省
全国知事会・全国市長会・全国町村会

本研修では、鋼橋の計画・設計・製作・架設・維持補修から積算まで鋼橋全般にわたり、
経験豊富な第一線で活躍されている技術者(講師)の方々による実践的で、わかりやすい
講義を行います。

最新の鋼橋に関わる技術を短期間に修得することができ、鋼橋建設業務に携わる職員
の皆様には大変有意義な研修となっております。

また、全国から集まる実務担当者との相互交流、情報交換の貴重な機会としても大変好
評です。皆様のご参加をお待ちしております。



斜張橋主桁の架設



大宮ほこすぎ橋 (埼玉県)
※(一社)日本橋梁建設協会より提供

【研修期間】 平成 26 年 2 月 5 日(水)～2 月 7 日(金) 3 日間
【研修場所】 一般財団法人 全国建設研修センター 研修会館
〒187-8540 東京都小平市喜平町 2-1-2
TEL:042-324-5315 <http://www.jctc.jp/>

*当センターホームページよりインターネットで研修の申込ができます。

※一般社団法人 建設コンサルタンツ協会の継続教育(CPD)認定プログラム
※一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会の継続教育(CPDS)認定プログラム

平成25年度研修「鋼橋設計・施工」実施要領

1. 目的

鋼橋の設計・計画のポイント、鋼橋の製作、補修・補強事例など鋼橋の設計・製作・架設・維持補修等に関する基本から最新の技術まで総合的な知識を短期間で修得する。

また、共同生活による相互啓発、相互交流、情報交換等を通じて、職場における業務の推進に資するものとする。

2. 対象職員 橋梁の計画・設計・製作・架設・維持補修等に携わる職員

3. 募集人数 40名

4. 研修期間 平成26年2月5日(水)～平成26年2月7日(金) 3日間
※全寮制(通学を希望される方はご相談ください)

5. 集合日時 2月5日(水)8時45分までに、研修会館にご集合ください。
※前日宿泊を希望される方は、21時までにご入館ください。

6. 教科目、講師及び研修場所(次頁以降参照)

全教科目のテキストは CD(PDF)で配付し、講義は各自一台のパソコンを見ながら受講していただきますので、ノート類を準備してください。

7. 申込先及び問い合わせ先

一般財団法人 全国建設研修センター 研修局 研修担当:松本、久保寺

〒187-8540 東京都小平市喜平町 2-1-2

※ 申込みはインターネット、郵送、FAX、メールいずれでも受け付けております。

ホームページアドレス <http://www.jctc.jp/>

メールで申込みをする場合は、申込書フォームをメールでご請求ください。

TEL:042-324-5315 FAX:042-322-5296 メールアドレス:uketuke@jctc.jp

8. 研修経費及び納入先

(1) 研修経費(1人当たり・消費税含)

① 研修会費: 68,000円

② 宿泊費: 5,800円(2泊分) ※前日宿泊の場合は、1泊分(2,900円)追加になります。

③ 合計: 73,800円

(2) 研修経費納入先

三菱東京UFJ銀行 新宿支店 普通預金 No.0000316

ザイ) ゼンコケンセツケンシュセンター

一般財団法人 全国建設研修センター

ノミヤマ シゲヒロ

理事長 野見山 恵弘

受講通知書到着後にお振り込みください。

振込手数料はご負担ください。

なお、経費別の納入及び当日持参も可能です。

(参考) 食費は、研修会館内の食堂(土・日・祝日は休み)を利用する場合、1日当たり1,400円(定食:朝400円、昼450円、夕550円)です。支払いは直接食堂へお願いします。

9. 申込締切日 平成26年1月29日(水)

10. その他

(1) ご持参いただくもの(筆記用具、ノート類、電卓、共済組合員証又は健康保険証、洗面用具、タオル類、着替え、雨具等)

(2) 研修会館に備わっているもの(浴衣、スリッパ、洗濯機、乾燥機、洗濯洗剤、石鹸、シャンプー、ドライヤー)

(3) 研修受講中の服装及び履物は、研修にふさわしい常識的なものを着用してください。

(4) 駐車場はありませんので、自家用車でのご来場はご遠慮ください。

平成25年度研修「鋼橋設計・施工」時間割

講義日時	講義時間	教科目	講義内容	講師所属	講師名	
2/5 (水)	8:30~8:45	受 付				
	8:45~ 9:30	開講の挨拶・オリエンテーション				
	9:30~10:30	1.0h	鋼橋の利点、特長について・鋼橋へのアプローチ	鋼橋全般について、橋の種類・橋の名称・どのように作られているのかその過程や鋼橋の利点・特長などをわかりやすく紹介します。	一般社団法人日本橋梁建設協会 技術委員会 設計小委員会 構造技術部会 委員	佐 狐 真 一
	10:40~11:40	1.0h	鋼橋に関する道路橋示方書の改定概要	平成24年に改定された道路橋示方書における鋼橋に関する改定内容のポイントと概要について説明します。	佐藤鉄工㈱ 技術部設計グループ 主席技師	
	12:30~14:00	1.5h	鋼道路橋計画の手引き	鋼橋の形式選定に関する基礎知識について解説します。鋼橋の構造型式の説明について概要を説明します。	一般社団法人日本橋梁建設協会 技術委員会 設計小委員会 構造技術部会 委員	橋 肇
	14:10~16:00	2.0h	鋼橋の設計・計画のポイント	鋼橋に携わる技術者として発注前・後の諸問題を最小限とするために必要な基礎知識を、計画・設計上のチェックポイントについて基本的確認事項および不具合事例をもとに解説します。	㈱駒井ハルテック 橋梁営業本部 橋梁技術研究室課長	
16:10~17:30	1.5h	鋼橋の製作	鋼橋の工場製作の工程の流れに沿って、施工要領、使用機材、品質検査等、必要な基礎知識について解説します。	一般社団法人日本橋梁建設協会 技術委員会 製作小委員会 製作技術部会 部会長 JFEエンジニアリング株式会社 津製作所 製造部 計画室 室長	高 士 房 伸	
2/6 (木)	9:00~11:00	2.0h	鋼橋の防食	鋼道路橋における代表的な3つの防食方法(塗装、溶融亜鉛めっき、金風溶射)について、その選定方法から特徴、製作施工方法に至るまでの基礎知識を中心に具体的に解説します。	一般社団法人日本橋梁建設協会 技術委員会 製作小委員会 防食部会 委員 ㈱東京鐵骨橋梁取手工場 品質保証課 係長	大 庭 哲 也
	11:10~12:40	1.5h	無塗装耐候性橋梁	耐候性鋼材の基礎から、適用事例、採用時の具体的な留意点を解説し、さらに、最近の新しい技術を紹介いたします。	一般社団法人日本橋梁建設協会 技術委員会 製作小委員会 耐候性鋼橋部会 部会長 ㈱横河ブリッジ橋梁生産本部 設計第一部第一課 課長	鈴 木 克 弥
	13:30~15:30	2.0h	鋼橋の架設	鋼橋の架設工法について、現地状況に応じた架設工法の選定と、各工法における施工要領、施工上の留意点、架設機械、事故事例などを説明します。	一般社団法人日本橋梁建設協会 技術委員会 架設小委員会 委員長 三井造船鉄構エンジニアリング株式会社 西部建設本部 主管	大 下 嘉 道
	15:40~17:10	1.5h	鋼橋製作の積算	鋼橋製作の積算について、構成・要素等を解説し、積算上の留意点を説明します。	一般社団法人日本橋梁建設協会 契約制度委員会 製作積算部会 部会長 瀧上工業株式会社 営業本部 営業企画チーム 課長	松 井 正 男
	17:20~18:50	1.5h	鋼橋架設の積算	鋼橋架設の積算について、架設積算の概要説明と積算例題を用いて留意点を解りやすく説明いたします。	一般社団法人日本橋梁建設協会 契約制度委員会 現場施工積算部会 部会長 川田工業株式会社 橋梁事業部 積算室 次長	島 田 清 明
2/7 (金)	9:00~10:30	1.5h	鋼橋の床版	鋼橋で使用されるRC床版、PC床版、合成床版について、その概要、設計、施工、維持管理について説明します。	一般社団法人日本橋梁建設協会 技術委員会 床版小委員会 床版技術部会 委員 ㈱バコーボレーション橋梁技術部 技術グループ グループ長 一般社団法人日本橋梁建設協会 技術委員会 床版小委員会 床版施工部会 委員 日立造船鉄構ビジネスユニット 技術企画部 課長代理	酒 井 武 志
	10:40~12:10	1.5h	疲労損傷の補修・補強事例	鋼橋の補修・補強事例として、主に疲労損傷を中心に破壊の特徴、各形式の損傷事例を説明します。	一般社団法人日本橋梁建設協会 保全委員会 保全第一部会(関東) 副部会長 JFEエンジニアリング株式会社 建設部 改築プロジェクト室 設計・製作グループマネージャー	福 島 道 人
	13:00~14:30	1.5h	鋼橋の補修・補強における点検～設計・施工の留意点	補修・補強工事の実態、施工事例、古い橋の特異点等を紹介し、補修・補強工事における設計および施工上の留意点を説明します。	一般社団法人日本橋梁建設協会 保全委員会 保全第一部会(関東) 委員 横河工事株式会社 保全事業本部 工事一部 計画積算グループ 課長	柿 沼 努
	14:30~14:40	閉講式				

※教科目及び講師については変更することがあります。

平成 25 年度研修 「鋼橋設計・施工」 申込書

一般財団法人 全国建設研修センター

G102

ふりがな				年令・性別	
氏名				満才 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	
最終学歴	<input type="checkbox"/> 大学院	<input type="checkbox"/> 大学	<input type="checkbox"/> 短大	<input type="checkbox"/> 高専	<input type="checkbox"/> 専門学校
	<input type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> その他			科卒業
当研修に関する経験年数	年	ヶ月	役職名	<input type="checkbox"/> 事務 <input type="checkbox"/> 技術	
勤務先	(勤務先名)				
	部			課 Tel	
	E-mail	@			
勤務先種別	<input type="checkbox"/> 国、地方公共団体		<input type="checkbox"/> 機構、旧公団等		<input type="checkbox"/> 技術センター、財団、社団
	<input type="checkbox"/> 建設業者		<input type="checkbox"/> コンサルタント等		<input type="checkbox"/> その他
勤務先所在地	〒 -				
研修経費納入方法	研修会費	<input type="checkbox"/> 振込	<input type="checkbox"/> 持参	宿泊費	<input type="checkbox"/> 振込 <input type="checkbox"/> 持参
	前日宿泊 (2月4日)	希望する <input type="checkbox"/> 希望しない <input type="checkbox"/>			

◎前日宿泊の希望は、(希望する 希望しない) のいずれかを○で囲んでください。

※ 申込書に記入された氏名、年齢等の個人情報は、研修を円滑に実施するためのものです。

申込書の記載事項は、研修の事務連絡及び実施に必要な書類等の作成以外の目的では利用いたしません。

< 鋼橋設計・施工研修 >

受講者派遣機関名

〒 - Tel

所在地

派遣事務担当者

所属・氏名

キ リ ト リ セ ン

< 研修場所 >

一般財団法人 全国建設研修センター

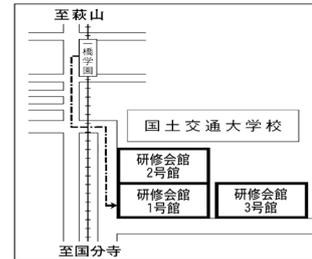
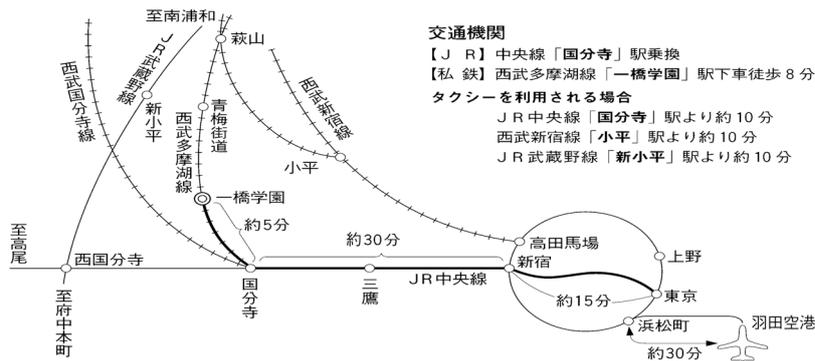
研修会館

※ 1号館にお越しください。

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

TEL 042 (324) 5 3 1 5 (代)

http://www.jctc.jp/



【参考】平成 25 年度、当センターが実施いたします橋梁部門の研修は次のとおりです。

研修名	対象者	日数	研修初日	研修会費(円)
橋梁設計	一般	9	8/21(水)	115,000
PC橋技術	一般	3	9/25(水)	68,000
橋梁維持補修	一般	5	10/7(月)	88,000
PC橋設計・施工 -新技術・新工法を含む-	一般	3	H26 1/22(水)	68,000
鋼橋設計・施工 -基本技術から最新の技術まで-	一般	3	2/5(水)	68,000

※「一般」… 行政、民間の職員を対象とした研修

平成 25 年度に実施する研修の実施計画についてはホームページで閲覧できます。ホームページアドレス <http://www.jctc.jp/>